Asbesto removal

事業内容 >

アスベスト処理

従来の工法に独自の技術をプラス
安全・確実に、危険な石綿を取り除きます

石綿繊維を吸い込むことで人体に有害な影響を与えることが明らかとなり、法的規制とともに石綿の輸入量は激減していますが、過去に使用された石綿類を含む建築資材などをどのように安全に処理していくかが重要な課題となっています。

Original technology

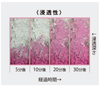
独自の吹付けアスベスト粉塵飛散防止処理技術「MPシステム」

技術審査証明
BCJ-審査証明102

国内でアスベスト問題が表面化して以来、当社はアスベスト処理工事に積極的に取り組んで参りました。独自の吹付けアスベスト粉塵飛散防止処理技術「MPシステム」を用いた豊富な実績と、法令にのっとった安全で確実な施工により、大きな信頼をいただいております。

オリジナルシーラー薬液

荷姿：18kg/缶



MPシーラーJ
除去用

配合比	ＭＰシーラーＪ：水＝１：９
塗布量	10mm：0.7～2.0 kg/㎡、20mm：1.4～4.0 kg/㎡、30mm：2.1～6.0 kg/㎡
色	クリア
外観	青色高粘度 液体
主成分	水溶性樹脂
PH	中性
希釈率	清水10倍希釈

荷姿：18kg/缶

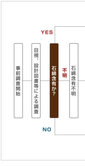
MPシーラーF
封じ込め用

配合比	原液のまま
塗布量	除去面：0.1～0.2 kg/㎡、養生面：0.05～0.07kg/㎡
色	クリア、白
外観	乳白色 液体、白色液体
主成分	樹脂エマルション、樹脂エマルション
PH	7～9、7.5～9.5
希釈率	粘度調整として、清水10%以下

Content analysis

アスベスト含有分析調査

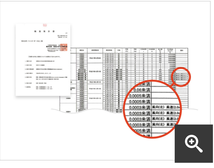
健康への影響が懸念されるアスベスト（石綿）は、建物のみならずいたるところに使用されている可能性があります。その中でも飛散性があるものについては、早急に対策を講じる必要があります。施工年や材料名で判断できる場合もありますが、原則的には現地でサンプルを採取し、含有物と含有量を分析・確認します。その結果をふまえて対策工事の必要性や施工方法の検討を行うため、まず初めにこの分析が不可欠です。私どもは調査、分析から施工までをトータルで行い、過去30年の実績で各方面より信頼をいただいています。



Concentration measurement

繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の濃度測定

当社独自の工法「MPシステム」では、アスベスト処理の作業前・作業中・作業後に濃度測定を行うことを義務付けています。国土交通省監修の基準（平成28年度版）よりも多くのポイントで測定を行い、その安全基準は、作業場外及び作業後の内部では10f/リットル以下、さらに管理値としては5f/リットル以下としています。この管理値も、公的機関のものより厳しい値を採用しています。さらに、施工中は負圧除塵装置の排出口にデジタル粉塵計を配置してリアルタイムで濃度測定を行っており、万が一の不測の事態にも早急に対応できる体制をとっています。



アスベスト処理工事の流れ

工事計画書・必要機器・資材の準備	1
養生、足場・各種装置等の設置	2
粉じん飛散抑制剤吹付け	3
アスベスト除去、粉じん濃度測定	4
アスベストの搬出・清掃・検査	5
養生・足場撤去	6
再度の粉じん濃度測定	7
施工記録、作業記録等	8

Archivements

アスベスト処理の施工実績

今月着工の工事 <H26.6月>

2014.06.03　公共施設の改修工事、賃貸物件工事、分譲物件工事、役所関係工事、アスベスト処理

今月着工の工事 <H26.4月>

2014.04.24　公共施設の改修工事、分譲物件工事、役所関係工事、アスベスト処理、安全

今月の工事 H25.12

2013.12.03　分譲物件工事、アスベスト処理

施工実績一覧

Copyright © 2017 Marco Polo Inc.